

鑑文 第4次特別支援教育推進計画に関連する学校の取組状況について以下の質問にご回答ください。

- 1 学校名、回答者（校長・副校長）
- 2 「方向性 小・中学校における取組」について、以下の問いに回答してください。
- 2-1 全校回答「取組 1 通常の学級における特別支援教育の充実」について、以下の問いに回答してください。

回答パターン		
回答パターン【選択 1】	回答パターン【記述 1】	回答パターン【頻度】
1 取り組みを進め、想定以上の成果が見られた	1 通常の学級に在籍する支援が必要な児童・生徒数	1 週 1 回以上
2 取り組みを進め、成果が見られた	2 1 のうち学校生活支援シートを作成した児童・生徒数	2 月 2 回以上
3 取り組んだ	3 1 のうち個別指導計画を作成した児童・生徒数	3 月 1 回以上
4 あまり取り組めなかった		4 月 1 回以下
5 取り組めていない		

方向性 小・中学校における取組		質問	回答者	回答パターン
取組 1 通常の学級における特別支援教育の充実	ア 人権教育の一層の推進	○人権教育の理念に基づき、障害の有無に関わらず互いを尊重し、多様性を認め合う学校づくりに向けた取組	学校	選択 1
		○共生社会の実現を目指した、「未来へつなぐ府中 2 0 2 0 レガシー」の取組	学校	選択 1
	イ 通常の学級における特別な支援を必要とする児童・生徒の指導の充実	○個々の実態に応じた授業づくりの取組	学校	選択 1
		○安心・安全な学校生活が送れる学級づくりの取組	学校	選択 1
		○学校生活支援シート（個別の教育支援計画）及び個別指導計画の作成	学校	記述 1
	ウ 学習環境の改善と整備	○一人 1 台端末等の I C T 機器の活用や教室環境の改善などの児童・生徒の発達の特性に応じた多様な学びの提供	学校	選択 1
		○拡大教科書やマルチメディアデイジー教科書の活用、デジタル教科書等のデジタル教材の導入	学校	選択 1
		○ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点に立った学習環境の整備	学校	選択 1
		○人権に配慮した指導、不適切な指導の根絶に向けた取組	学校	選択 1
	エ 校内委員会の更なる充実	○実施頻度	学校	選択頻度
		○委員構成の工夫（SC,外部人材の活用など）	学校	記述
	オ 交流及び共同学習、副籍交流の推進	○交流及び共同学習の推進	学校	選択 1
		○副籍交流の取組	学校	選択 1
	カ 小中連携教育における取組の充実	○小・中学校間の情報共有や引継ぎの実施	学校	選択 1
	第4次推進計画での項目なし 異校種への指導の接続	○幼稚園・保育園との情報共有や引継ぎの実施（小学校） ○高等学校等との情報共有や引継ぎの実施（中学校）	学校	選択 1
章末の問	回答いただいた中で、成果のあった取組や課題がある取組については、その具体を記載してください。			

- 2-2 特別支援学級設置校回答「取組 2 知的障害特別支援学級における指導の充実」について、以下の問いに回答してください。

取組 2 知的障害特別支援学級における指導の充実	ア 知的障害特別支援学級の指導内容・方法の充実	○児童・生徒の実態に応じた教育課程の編成	学校	選択 1
		○適切な教科用図書や教材の選定	学校	選択 1
		○個別指導計画に基づいた教科指導や各教科等を合わせた指導の充実	学校	選択 1
		○特別支援学校や医療機関等の関係機関と連携した、児童・生徒の実態に応じた指導及び支援の充実	学校	選択 1
	ウ 学校生活支援シート（個別の教育支援計画）及び個別指導計画に基づく指導と支援の充実	○学校生活支援シート及び個別指導計画を作成し、計画に基づいたきめ細かな指導の充実	学校	選択 1
	エ 知的障害特別支援学級の適正な規模と配置	○知的障害特別支援学級の増設について検討	委員会	
		○自閉症・情緒障害特別支援学級の設置について検討	委員会	
		○小・中学校間の情報共有や引継ぎの実施	学校	選択 1

	オ 異校種への指導の接続	○幼稚園・保育園との情報共有や引継ぎの実施（小学校） ○高等学校等との情報共有や引継ぎの実施（中学校）	学校	選択 1
	オ 異校種への指導の接続	○異校種への情報の引継ぎ	学校	選択 1
	第4次推進計画に項目なし 都第三次計画より	○自立と社会参加に向けた職業教育や進路指導の充実	学校	選択 1
章末の間	回答いただいた中で、成果のあった取組や課題がある取組については、その具体を記載してください。			

2 - 3 全校回答「取組 3 特別支援教室における指導の充実」について、以下の問いに回答してください。

取組 3 特別支援教室における指導の充実	ア 特別支援教室の指導内容・方法の充実	○指導目標の立て方や指導目標に対する評価の考え方の共通理解を図るための取組	学校	選択 1
			委員会	取組
	イ 在籍学級担任等と巡回指導教員との連携の充実	○巡回指導教員等による在籍学級における当該児童・生徒の状況把握	学校	選択 1
		○連携型個別指導計画等の作成・活用	学校	選択 1
	ウ 学校生活支援シート（個別の教育支援計画）及び個別指導計画に基づく指導と支援の充実	○学校生活支援シート及び個別指導計画を作成し、計画に基づいたきめ細かな指導の充実	学校	選択 1
	エ 異校種への指導の接続	○幼稚園・保育園との情報共有や引継ぎの実施（小学校） ○高等学校等との情報共有や引継ぎの実施（中学校）	学校	選択 1
		○異校種への情報の引継ぎ	学校	選択 1
	オ 特別支援教室ガイドラインの改訂及び周知徹底	○教員の特別支援教室ガイドラインの理解に向けた取組	学校	選択 1
		委員会	取組	
章末の間	回答いただいた中で、成果のあった取組や課題がある取組については、その具体を記載してください。			

2 - 4 通級指導学級設置校回答「取組 4 通級指導学級（難聴・言語障害）における指導の充実」について、以下の問いに回答してください。

取組 4 通級指導学級（難聴、言語障害）における指導の充実	ア 通級指導学級（難聴、言語障害）の指導内容・方法の充実		学校	選択 1
	イ 学校生活支援シート（個別の教育支援計画）及び個別指導計画に基づく指導と支援の充実	○学校生活支援シート及び個別指導計画を作成し、計画に基づいたきめ細かな指導の充実	学校	選択 1
	ウ 学習環境の改善と整備	○一人1台端末等のＩＣＴ機器を活用した児童・生徒の発達の特性に応じた多様な学びを提供	学校	選択 1
		○拡大教科書やマルチメディアデイジー教科書の活用、デジタル教科書等のデジタル教材の導入	学校	選択 1
		○ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点に立った学習環境の整備	学校	選択 1
		○人権に配慮した指導、不適切な指導の根絶に向けた取組	学校	選択 1
	第4次推進計画に項目なし 異校種への指導の接続	○幼稚園・保育園との情報共有や引継ぎの実施	学校	選択 1
		○小・中学校間の情報共有や引継ぎの実施	学校	選択 1
章末の間	回答いただいた中で、成果のあった取組や課題がある取組については、その具体を記載してください。			

2 - 5 全校校回答「取組 5 特別支援教育に関する専門性の向上」について、以下の問いに回答してください。

取組 5 特別支援教育に関する専門性の向上	ア 全ての教職員等の特別支援教育に関する理解促進	○教職員等（「合理的配慮支援員」や「特別支援学級補助員」等の支援員も含む。）を対象とした特別支援教育に関する研修の実施	学校 委員会	選択 1
		○幼保小中の教員等が共に学ぶ機会の設定	学校 委員会	選択 1
	イ 通常の学級の教員を対象とした研修の充実	○通常の学級の教員を対象にした特別支援教育に関する専門性向上に資する研修	学校 委員会	選択 1
	ウ 知的障害特別支援学級、特別支援教室、通級指導学級（難聴、言語障害）の教員を対象とした研修の充実	○医師、心理士、言語聴覚士、学識経験者等の専門家から助言を受ける機会や研修の充実	学校 委員会	選択 1
		○特別支援学校のセンター的機能の活用	学校 委員会	選択 1
章末の間	回答いただいた中で、成果のあった取組や課題がある取組については、その具体を記載してください。			

方向性 取組を支える環境の整備

3 全校校回答「取組 1 イ」について、以下の問いに回答してください。

取組 1 教育相談体制の整備・充実	ア 教育相談の充実	○教育相談等の充実	委員会	回数
		○巡回相談の活用	委員会	回数
	イ 重層的な支援体制の充実	○初期段階における心理的、福祉的な視点でのアセスメントの充実に 向けた巡回相談、SSW、関係機関等との連携	学校	選択 1
	ウ 児童発達支援センター（仮称）における教育相談機能の整備	○教育と福祉の連携による切れ目ない支援の実施	委員会	取組
取組 2 就学相談の充実	ア 児童発達支援センター（仮称）における就学前相談機能の整備	○教育、福祉、保健等が連携した体制を整備	委員会	取組
	イ 教育支援（就学相談、転学相談等）の充実	○就学に関するガイダンスの充実	委員会	回数
		○柔軟に転学等ができることを、全ての教職員の共通理解となるように周知	委員会	回数
		○教育支援員等による学校訪問	委員会	回数
	ウ 幼稚園、保育園等と連携した理解促進	○教育支援員が当該の幼稚園や保育園を巡回し、幼児・園児のアセスメントを実施	委員会	回数
		○幼稚園や保育園との連携の充実	委員会	取組
取組 3 児童・生徒のライフステージにおける連続性のある支援	ア 児童発達支援センター（仮称）における福祉と教育相談・教育支援の連携の充実		委員会	取組
	イ 「ちゅうファイル」を活用した福祉保健部との連携の充実	○「ちゅうファイル」と「学校生活支援シート（個別の教育支援計画）」の接続を図り、活用しやすい環境整備の推進	委員会	取組
取組 4 医療的ケア児への支援の充実	ア 医療的ケアの実施体制の整備	○医療的ケアの体制整備	委員会	取組
章末の間	回答いただいた中で、成果のあった取組や課題がある取組については、その具体を記載してください。			

方向性 保護者、地域及び関係機関との連携

4 全校校回答「取組 1 ア」について、以下の問いに回答してください。

取組 1 保護者、地域の特別支援教育の理解促進に向けた取組の充実	ア 特別支援教育に関する情報発信	○教育委員会の刊行物、教育委員会や学校のホームページ等を活用しながら、保護者や地域に対する理解啓発活動の一層の充実	学校委員会	取組
取組 2 関係機関との連携	ア 都立特別支援学校のセンター的機能の活用	○特別支援学校との連携（指導・助言の件数）	委員会	取組
	イ 児童発達支援センター（仮称）等の福祉との連携	○放課後等デイサービスや保育所等訪問支援等の障害児通所支援の充実	委員会	取組
章末の間	回答いただいた中で、成果のあった取組や課題がある取組については、その具体を記載してください。			